

岐阜県立岐南工業高等学校で防災講座を行いました

令和6年7月9日（火）、岐阜県立岐南工業高等学校で土木工学科の2年生34名、3年生27名に防災講座を行いました。この学校での講座は、前日の建築工学科に続き2回目です。

講座では、VRによる浸水疑似体験やマイタイムラインの作成を通して、水害の恐ろしさや早期避難の重要性を学習しました。各自ハザードマップで自宅の浸水深を確認したところ、半分以上の生徒が3m以上浸水することが解り、浸水疑似体験と重ね合わせて備えへの理解が深まった様子でした。

また、伊勢湾台風や岐阜市で甚大な被害のあった昭和51年の9.12豪雨災害など過去の水害を学び、学校周辺の被害写真を見た際には、自分も被害にあうかもしれないと自分事として考えていました。

講座の最後に代表の生徒から、「改めて水害の恐ろしさを知った。これからは家族と話し合っって自分の命は自分で守っていきたいと思った。」との感想がありました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

